

令和6年度 学校評価アンケート結果(全日制・教員)

評価 4:十分達成できた 3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

※印のついた項目は教員自身の自己評価です。

番号	評価項目	評 価 内 容	評価(%) 下段R5			
			4	3	2	1
※1	学校目標	学校行事や中目標の目指すところを意識しながら、生徒の育成・指導に努めている。	11.1	75.0	13.9	0.0
			12.9	64.5	22.6	0.0
※2	教育課程	「シラバス」等を用いて、教育課程や年間指導計画について、生徒に適切に説明できている。	33.3	47.2	16.7	0.0
			22.6	64.5	12.9	0.0
※3	学習指導	生徒の学習意欲が高まるように考え、授業を工夫している。	33.3	55.6	8.3	0.0
			35.5	61.3	3.2	0.0
※4	学習指導	「生徒からの授業評価」の結果を参考にしながら、指導方法の工夫・改善に努めている。	36.1	50.0	11.1	0.0
			29.0	67.7	3.2	0.0
※5	生徒指導	生徒の服装や生活態度の乱れを見逃さず、ねばり強く指導している。	16.7	61.1	13.9	5.6
			6.5	58.1	38.7	0.0
※6	進路指導	生徒が希望する進路に進めるように、適切な指導・助言を行っている。	30.6	55.6	11.1	0.0
			25.8	64.5	9.7	0.0
※7	部活動	時間の許す限り、部活動を行っている。	38.9	38.9	16.7	2.8
			25.8	41.9	29.0	0.0
※8	いじめ防止	いじめ問題の重要性を認識し、いじめの兆候を把握した時、問題に真摯に向き合い、迅速に対応できている。	33.3	63.9	0.0	3.2
			22.6	74.2	6.5	0.0
※9	その他	清掃監督をきちんと行うとともに、ごみの分別や教室等の美化について、ねばり強く指導している。	27.8	58.3	13.9	0.0
			41.9	48.4	12.9	0.0
10	学校行事	学校目標や中目標に基づいて教育活動が行われている。	16.7	72.2	11.1	0.0
			16.1	64.5	22.6	0.0
11	教育課程	教育課程が適切に見直されており、魅力的で、生徒が意欲的に学習するものになっている。	13.9	69.4	13.9	2.8
			12.9	71.0	19.4	0.0
12	生徒指導	教員と生徒の信頼関係が厚く、家庭との連携がうまくとれている。	11.1	72.2	13.9	0.0
			12.9	77.4	12.9	0.0
13	進路指導	生徒・保護者と学級担任が適切に連絡を取り、情報提供や効果的な進路指導を行っている。	16.7	83.3	0.0	0.0
			29.0	54.8	19.4	0.0
14	教育相談・支援	教育相談・支援の視点に立った学校運営がなされており、一人ひとりの生徒に対しても個に応じた適切な教育が行われている。	33.3	61.1	5.6	0.0
15	部活動	部活動は、公正・公平で、よく部員の話聞き、一人ひとりを大切にするように運営されている。	30.6	58.3	8.3	2.8
			6.5	35.5	54.8	6.5
16	学校行事	学校行事の内容は充実しており、時期・内容などは適切に設定されている。	36.1	55.6	8.3	0.0
			19.4	67.7	12.9	3.2
17	学校行事	学校行事は全員が参加できるように工夫されており、一人ひとりにとって実りあるものになっている。	47.2	50.0	2.8	0.0
			35.5	58.1	9.7	0.0
18	人権・同和教育	生徒のお互いの人権を大切にする気持ちを育て、より高い人権意識をもつように指導している。	30.6	55.6	13.9	0.0
			25.8	58.1	19.4	0.0
19		清掃がいきとどいており、快適な学習環境が保たれている。	8.3	58.3	33.3	0.0
			6.5	41.9	54.8	0.0
20	その他	安全に配慮されており、防災訓練や避難訓練も適切に行なわれている。	33.3	58.3	8.3	0.0
			38.7	58.1	3.2	3.2
21		学校全体で、特別支援教育についての指導力の向上を図り、適切な研修や指導の工夫等が必要に応じて行われている。	30.6	61.1	8.3	0.0
			35.5	64.5	3.2	0.0

【分析等】

○ 昨年度よりも多くの項目において「4」が増加している。特に自己評価の「※5生徒指導」と学校評価「15部活動」の増加幅が大きい。ただ自己評価の「※5生徒指導」には、「1」もある。

○ 一方で、自己評価の「※9その他」の清掃についての「4」の減少幅が大きい。

○ 「4」が5割に達しようかという学校評価「17学校行事」もあれば、1割程度の自己評価「1学校目標」、学校評価「12生徒指導」、1割にも満たない学校評価「19清掃」がある。

○ 「1学校目標」については問が「できている」ではなく「努めている」であるにもかかわらず低い数値である。これは抽象的な学校目標が日々の教育活動の中に落とし込めていないことの証左であると思われる。教育活動は漫然と行うのではなく「学校目標」やスクールポリシーを意識して行う必要がある。

○ 「12生徒指導」については、前段の「教員と生徒の信頼関係」がうまく築かれていないのか、後段の「家庭との連携」がうまくとれていないのか、また、学級経営上なのか部活動等の特別活動においてなのかなどは不明であるが、生徒・家庭との関係や連携は学校の根幹である。今後、全職員が意識して、コミュニケーション不足による認識のずれや誤解を生じさせないためにも日ごろから丁寧に関係構築(日々の声掛けや面談等)や連携強化(保護者連絡・保護者会開催・三者三者面談等)に努めなければならない。

○ 「清掃」については、自己評価「※9」で約3割がしっかり指導しているにもかかわらず、他者評価「※19」では3割があまりできていないとし、達成できているは1割に満たない。指導したからといってすぐさま清掃が行き届き、環境が整うわけではないが、粘り強く清掃指導を行っていきたい。清掃は他国ではあまり見られない日本独特の学校の取組であると言われている。学校での清掃の時間が日本人の清掃の習慣や衛生観念の涵養、身の回りを整える習慣につながっていることは間違いない。大切にしたい時間である。